

## 農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案13件、発議1件を原案可決

【議案第2号】南島原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員候補者評価委員会条例の制定について

質疑 認定農業者でなくとも採用できるのか。

答弁 中立委員という農業をしていない方1名以上の採用が定められている。他に、女性や若年層の積極採用の規定がある。

質疑 農地利用最適化推進委員は、各地域割であるが、農業委員の規定は。

答弁 農業委員は、地域の指定は無く、市内で19人である。

【議案第20号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第5号)

〈建設部〉

質疑 繰越明許費、この事業の完成予定は。

答弁 30事業の繰越明許費を計上、うち、9事

業が年度内完成予定、残る21事業は5月完成の見込み、6月の繰越計算書で21事業が確定になる。

質疑 道路新設改良費の工事請負費の増額理由は。

答弁 繰越しをお願いしている9路線の5月下旬完成に向けた進捗増の事業が多くなったため、事業完了が達成できる補正をお願いしている。

〈農林水産部〉

質疑 ワイヤメッシュが減額されているが、国には要望しているのか。

答弁 要望は出している。29年度は6割程度の配当だったが、事業が落ち着いてきており、100%の補助で設置できた。

【議案第22号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

質疑 繰越明許費があるが、完了予定はいつ頃

か。

答弁 貝瀬浄水場の改修工事の工期は、190日で夏ぐらいいまでかかる。

質疑 今年度3月までに終わる工事はあるのか。

答弁 浦口日野江城2号線は、年度末終了見込みである。

別会計予算

質疑 下水道施設整備費の補償費の中身と、積算根拠を。

答弁 水道の移転補償費である。積算根拠は、上水道課と下水道課が補償契約を結び、経年係数等を換算した額の計上である。



ワイヤーメッシュ

## 予算審査特別委員長報告

(松永忠次委員長)

議案第26号を原案可決

3月5日から6日までの2日間、議長を除く全議員による予算審査特別委員会で慎重審議を行った。

平成30年度当初予算一般会計の総額は、300億767万2千円で、前年度比0.04%の増。

歳入歳出に対する主な質疑

質疑 骨格予算なのに平成29年度当初予算より多い理由は。

答弁 継続事業は骨格予算に計上し、平成30年度は給食センター、有家庭小学校、多目的運動広場などの継続事業があるため。

〈総務部関係〉

質疑 鳥鉄跡地の草刈り費用の内訳は。

答弁 全体32.4kmについて、草刈り、草の収集・運搬、草木の処理費を1千万計上している。

〈水道部関係〉

質疑 水道事業会計費の5億1,380万円の負担金の中身は。

答弁 公営企業会計となり独立採算制であるが、

若干故障したと聞いている。

質疑 農業委員の報酬と農地利用最適化推進委員の報酬は。

答弁 会長が4万3,500円、代理が3万6,500円。農業委員が3万4,800円。農地利用最適化推進委員は、3万600円となっている。

〈建設部関係〉

質疑 空き家除去の補助金のこれまでの件数は。

答弁 今年が22件、28年度が9件。

〈市民生活部関係〉

質疑 鳥原病院の負担金が増えた理由は。

答弁 平成30年度に放射線治療機の装置購入などが計画されている。

〈農林水産部関係〉

質疑 農道等維持管理工事費で深江の小林小学校から上る白線を引くのか。

答弁 お尋ねの区間は県道雲仙・深江線で県管理となっている。(他にも2日間には様々な質疑があった)

質疑を終了後、反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により、議案第26号は、可決することに決定した。